

ほしぐみだより

ほろむい認定こども園とことん 令和3年9月30日

今月は今まで以上に戸外へ出る時間を多く設け、特に友達と一緒に手をつないで歩くことを楽しんできました。「今日は〇〇ちゃんと手をつなぐ！」と張り切っていたり、転んでしまった子に「大丈夫？」と気遣ったりと相手を意識する姿がたくさん見られ、人間関係の深まりが感じられましたよ。また、おへやで落ち着いて過ごすこともできました。朝の身支度を保育者と一緒におさらいしたり、塗り絵やワミー、リモーザなど、指先を使った細やかな動作ができるような遊びを楽しんだり、お子さん一人ひとりとより丁寧に関わりながら過ごしてきました。

これまでのとことんでの生活リズムとは大きく変わってしまいましたが、そんな中でも日々変化に順応し、できることを増やしていくこどもたちを見て、とても頼もしく、嬉しく感じると同時に今後の成長がますます楽しみです！

休園等で普段とは異なる環境での園生活。こどもたちだけでなく、保護者のみなさまにも多くのご理解とご協力をいただき、心から感謝しております。ありがとうございます。

公園の遊具で思い切り遊びます！



虫捕り、花かんむりなど楽しみました！



外での食事もとってもおいしいね。



最近のブームはリモーザです。



幌向駅に電車を見に行きました！



今後は、とことん山でもたくさん遊んでいきます！

3歳児ってこんな時期②

現在のほしぐみではこどもたちのいざこざが絶えません。物の取り合いや遊びのルールや約束事をめぐり、ほぼ絶え間なくトラブルが生じております。特に最近「〇〇ちゃんと遊びたい」「△△くんはだめーよ」と遊ぶ相手を選びたいという様子が増えてきています。

実はこの一緒に遊ぶ相手を決めるということがこどもにとってはとても重要なのです。遊びの仲間として認められるためには、我慢したり、妥協したり、許し合ったり…と様々な葛藤を体験します。相手との関わりが深まってくると、すべてが自分の思い通りにならず、悲しい思いや悔しい思いをすることもあります。わたしたち保育者はそのようなタイミングで介入していくのですが、できる限り双方の気持ちを汲みとり、こども自身でもつれた糸をほどけるように促しています。それによって、こどもは自分の気持ちや相手の気持ちに気づき、友達の大切さを感じていけるのです。

友達関係はまだまだ成長中のほしぐみさん。相手とぶつかる経験をしながら、人とつながることの喜びや楽しさを知ってほしいなと思っています。